

## 巻 頭 言

秋田県立大学理事（研究・地域貢献担当）

飯田 一朗

インターネットの急速な進展により人々の暮らしが従来に比べ格段に便利になり、課題解決も容易になっている反面、じっくり腰を落ち着けて深く考える時間は逆に減っているように感じることが多い。さらに最近では、コロナ禍やエネルギー問題など、過去には経験しなかったような急激な変化が次々と起こり、ひとつの視点だけから眺めていてはわからない多面的かつ複雑な課題も増えている。このような課題に対処するには、従来のように問題を局所化・単純化した上で最適化問題を解くような研究だけではなく、さまざまな分野の人が関わって異なる視点から課題に取り組み、それらの知見から総合的な解決策を求めていくようなアプローチ（システム思考）が以前にも増して重要になっているように思う。

本学は、生物系とシステム系が並存し、それぞれの専門領域が多岐にわたっていること、教育、研究に加え地域貢献を重要なミッションとしている公立大学であることを特徴としているため、地域と密着した複雑な課題に対し様々な領域の研究成果を多面的に融合するアプローチが採りやすい有利な環境にあると思われる。この優位性を生かしていくためには、自分の専門領域だけでなく、無関係のように見える他領域の研究にも目を光らせ、領域融合研究を活発化して研究の幅を広げていく必要がある。

本学のWebジャーナルは、研究と地域貢献の両面から様々なアプローチや研究成果がバランス良く掲載されている。まだ本格的な研究課題に整理されていないアイデアレベルのものや、地域が抱える課題を扱った論文も多く、通常の学術論文誌では出会えないさまざまな経験値が学べる可能性がある。領域融合研究のヒントは随所にあると思われるので、本ジャーナルの有効活用と積極的な投稿を今後も期待したい。

2022年10月